

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-11 観光振興事業 □支援部門						
主管課	観光商工課(観光課)	関連課					
分野名	観光						
目標 (目標値)	鎌倉の観光情報をタイムリーに提供することによって、多くの観光客に鎌倉を訪れてもらうため。また、主要観光行事などの開催支援や、案内業務を適切に行うことによって、観光客に安全で快適に観光を楽しむことができるようにする。						
人口等の データ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考		
	人口	177,204人	177,161人	176,669人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯			
	事業の対象者数	18,110,868人	19,486,481人	18,833,713人			
運営資源 状況	決算値(千円)	93,329	83,306	77,355			
(国・県)	33,273	16,252	873				
(負担金等)	260	3	6				
(一般財源)	59,796	67,051	76,476				
人員配置数	1.9人	1.4人	1.4人				
人件費(千円)	17,337	13,505	13,672				
協働の パートナー	広域観光団体ほか 推進体制関係団体ほか	観光協会 商工会議所	観光協会 商工会議所				
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	110,666	96,811	91,027			
	市民1人当 りの経費(円)	625	546	515			
	対象者1人 当りの経費(円)	6.0	5.0	4.8			
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒	横浜	藤沢	箱根	京都	鎌倉	
	観光客数	41,965,403	15,408,300	17,671,000	49,555,000	18,110,868	
	宿泊者数	4,820,450	392,431	4,280,639	13,100,000	300,410	
	宿泊率	11%	3%	24%	26%	2%	
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
HP1日当たりのアクセス数	◎	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	3,844	3,888	4,519		

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
観光振興支援事業	34,888千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ ■A □B □C □D □E	事業の概要 鎌倉観光三大行事や俳句&ハイク、鎌倉ビーチフェスタなどに負担金、補助金を交付し様々な鎌倉観光の魅力を伝えた。着地型観光商品開発に向けて鎌倉市観光資源創出及び商品開発等事業の実施・検証を行った。	
	8,230千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ ■A □B □C □D □E	事業の概要 四季のみどころや観光マップなどのパンフレット類やホームページの充実を図り、観光客への適切な情報提供に努めた。	
観光協会支援事業	40,258千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ ■A □B □C □D □E	事業の概要 観光協会の運営に対する支援を行い、鎌倉観光の充実を図った。	
観光案内所運営事業	9,953千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ ■A □B □C □D □E	事業の概要 JR鎌倉駅東口駅前の観光案内所の運営を委託し、観光客に適切な情報を提供した。	
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A □B □C □D □E	事業の概要	

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	観光パンフレットや四季のみどころ、HPなど広報宣伝媒体に広告を掲載し、積極的な財源確保を図る。 鎌倉ビーチフェスタや俳句&ハイク事業に対し市が負担しているが、より効率的で効果の高い事業への見直しを求められている。 着地型観光商品開発については、地域資源調査・モニターツアーを通じて商品化を検討する。
課題解決のための取組	観光パンフレットや四季のみどころ、HPで広告主の募集を開始した。 鎌倉ビーチフェスタや俳句&ハイク事業に対し、より効率的で効果の高い事業への見直しをもとめ、負担金の額の見直しを行った。 着地型観光商品開発のための調査・事業の実施を行った。
未解決の課題	広告主の効果的な募集方法を検討しなければならない。 関係団体と調整し、さらに効果的なイベント開催を検討する。 世界遺産登録を念頭においた観光振興施策を更に実施する必要がある。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了	
	↓	②妥当性 ○		A	財源確保のため、広告を募集するために今後さらにHPのアクセス数を増やしていく。 平成22・23年度の2か年で実施した、鎌倉市観光資源創出及び商品開発等事業の調査結果を受けて、平成24年度以降新たな事業展開を推進する。 世界遺産登録を念頭においた観光振興施策を更に推進して行かなければならない。	課長等名
		③有効性 ○				課長(代理)
		④公平性 ○				齋藤和徳

## (2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果	
観光振興支援事業	主な個別事業	386 観光資源ネットワーク構築及び着地型観光商品開発等にかかる支援業務委託料	34,036	33,273	■適切	□見直し余地あり
		386 俳句&ハイク事業負担金	570	570	■適切	□見直し余地あり
		386 鎌倉ビーチフェスタ事業負担金	1,045	1,045	■適切	□見直し余地あり
		386 鎌倉花火大会実行委員会負担金	4,754	0	■適切	□見直し余地あり
		386 主要観光行事安全対策負担金	5,000	0	■適切	□見直し余地あり
広報宣伝事業	主な個別事業	388 四季のみどころ印刷製本費	1,238	1,237	■適切	□見直し余地あり
		388 観光マップ「鎌倉」作成業務委託料	2,239	1,804	■適切	□見直し余地あり
		388 観光ポスター作成業務委託料	645	630	■適切	□見直し余地あり
		388 ホームページ更新等業務委託料	1,099	1,087	■適切	□見直し余地あり
		388 課外事業ガイド作成業務委託料	551	551	■適切	□見直し余地あり
		388 鎌倉市観光案内図作成委託料(前年度からの事故繰越)	691	691	■適切	□見直し余地あり
		388 観光キャンペーン事業負担金	2,000	2,000	■適切	□見直し余地あり
		388 外国語ガイド活動支援補助金	100	100	■適切	□見直し余地あり
観光協会支援事業	主な個別事業	396 鎌倉市観光協会運営費等補助金	40,753	40,258	□適切	■見直し余地あり
観光案内所運営事業	主な個別事業	1,162 観光案内所業務委託料	9,770	9,770	■適切	□見直し余地あり
主な個別事業					□適切	□見直し余地あり